

<p><b>【技術の名称】</b>                  戸田式ひび割れ誘発目地付耐震壁構法</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第15-25号                  性能証明発効日：2016年3月18日</p> <p><b>【取得者】</b>                  戸田建設株式会社</p>
--	---

**【技術の概要】**

本技術は、鉄筋コンクリート造耐震壁のひび割れ対策として、耐震壁の壁板に比較的浅い欠き込みによる外部目地と有孔鋼板を用いたひび割れ誘発材によりコンクリートの乾燥収縮によるひび割れを目地部に集中させるとともに、耐力算定の際に目地深さ分のコンクリート厚さを有効とする工法である。

申込者が提案する「戸田式ひび割れ誘発目地付耐震壁構法 設計・施工指針」に従って設計・施工された鉄筋コンクリート造耐震壁は、同指針で定める長期、短期、終局時の耐力、および水平方向荷重時変形性能を有する。

**【技術開発の趣旨】**

一般の鉄筋コンクリート造耐震壁においては乾燥収縮により発生するひび割れの損傷を防ぐために壁板に深い欠き込み目地を設けて、ひび割れを目地部に集中させ、その部分にあらかじめ処置を行うことで水漏れなどの損傷を防いでいる。しかしこの場合は目地による断面欠損によって耐震壁の性能が損なわれる懸念があり、目地深さ分の厚さをコンクリートのむだ打ちとしてせん断耐力、せん断剛性を低減させる場合がある。本工法は比較的浅い断面欠損目地とその位置の壁内部に設置した有孔鋼板によってひび割れを誘発させる効果を有しながら、目地深さ分の厚さをコンクリートの有効な断面として耐力、剛性を算定することができる。

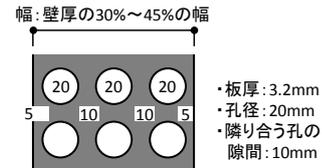
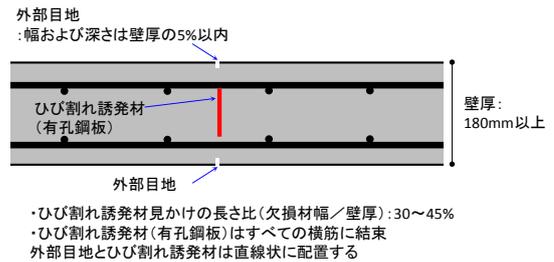


図2 ひび割れ誘発目地概要

**【性能証明の内容】**

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

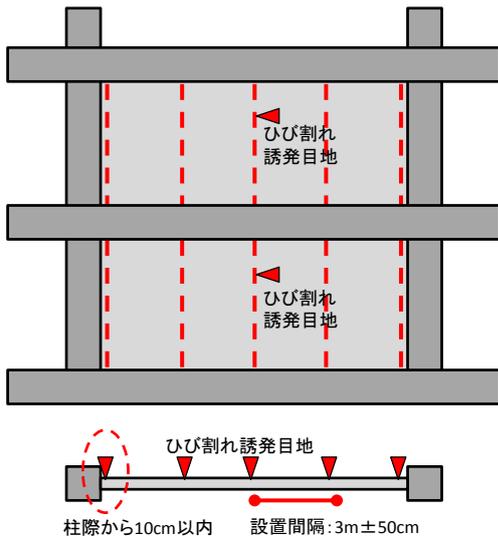


図1 ひび割れ誘発目地施工位置



図3 構造実験状況

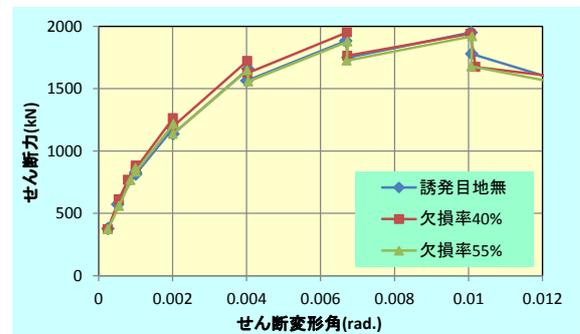


図4 骨格曲線の比較

**【本技術の問合せ先】**

戸田建設株式会社 技術開発センター 構造チーム 担当者：竹中 啓之 E-mail：hiroyuki.takenaka@toda.co.jp  
 〒300-2622 茨城県つくば市要 315 TEL：029-864-2961 FAX：029-864-3312